



杉並区立杉森中学校

学校だより第365号

平成28年4月26日

平成28年度 第1号

「一人一人が輝く学校」

校長 山内 清一

4月7日（木）の入学式で99名の1年生を迎え、全校生徒317名（2年113名、3年105名）、9学級（各学年3学級）で平成28年度の教育活動をスタートすることができました。入学式では、新入生を代表して馬橋小学校出身の岩下 礼くんが頼もしい内容の決意を述べてくれました。その言葉の中にあった「自分たちのことは、自分たちでやる」という意識を、高めていきたいと思っています。」という言葉が印象に残りました。これに対して歓迎の言葉を生徒会副会長の3年生平井 思帆さんが、中学校生活のことや、生徒会スローガン「自由と責任」のもとに杉森中生は前向きに何事にも取り組んでいることを紹介してくれました。

岩下くんの言葉にあったように、中学生が受け身にならず、「自分たちのことは、自分たちでやる」という意識で何事にも取り組んでいくことは大切だと思います。私たち大人は、この意識を高め、子どもの可能性の芽を摘むのではなく、広げていくために力を注ぎたいと考えています。また、子どもたちが質の高い活動ができるように、私たちも質の高い指導を目指していきたくと思います。子どもたちには、新年度に、新しい人と、新しい風を吹かせてくれることを期待しています。

さて、今年度は「一人一人が輝く学校」を目指します。生徒、保護者、地域、そして教

職員も生き生きと明るく活動できる学校でありたいと思います。生徒が光り輝く存在になるためには、何事にも目標をもち積極的に本気でチャレンジし、豊かな心と思いやりの心をもつことが大切です。本校の伝統である「自由と責任」を合言葉に、生徒たちが主体的に活動できる教育活動を教職員が一つとなって展開したいと考えています。また、今年度の重点目標は昨年度に引き続き「自主・自律」です。すべての教育活動を通して、自己肯定感や他者への思いやりを育み、自らが進んで考え判断し、誠実に実行できる力を付けさせ、「自主的・自律的」に行動できる生徒を育成していきます。

そのために、今年度も特色ある教育活動である ESS（イングリッシュ・サマースクール）・朝読書・書評発表・学校支援本部と連携した読み聞かせ・土曜授業での実践的な英語力の育成・伝統芸能鑑賞教室などを実施していきます。また、生徒会活動を中心に地域行事への参加やボランティア活動にも力を入れていきます。

保護者の皆様、地域の皆様には今年度も何かご協力をいただくことがあるかと思えます。学校と家庭、地域が共に手を取り合い、子供たちをあたたかく、時には厳しく見守り、「一人一人が輝く学校」を目指し、共に生徒を育ていくために、ご協力をお願いいたします。